

# 読書ノート

●建築 板垣鷹穂著 武蔵野美術大学出版  
重さ1kgに近いが、厚い本。寝ながら読書する。私には酷な立派な本、内容も専門的で重厚。旧漢字の難しい言葉も多い。それでも読みませる力のある本、内容や視野の広さ、深い洞察、何よりも著者の感性の豊かさ、品格、人間的な温かさにひかれからだ。517年刊行の本が復刻されたのも、今改めて高い関心を寄せるに至っていること。

●伊東豊雄建築読本-2010 A.D.A EDITA TOKYO刊

●建築少年たちの夢 現代建築水許伝

布野健司 彰国社

今治市伊東豊雄建築ミュージアムのオープンに合わせてタイドリーな本2冊。世界で活躍する伊東氏の物の考え方、進め方、常に新しいものを自由に生み出そうとするエネルギー。素人の私には十分理解できないけど、興味深い「人と作品」です。マヤカー携った作品も出てきて、ちょびりうれしい。

●取り戻しのつかないものを取り戻すために 大江健三郎・内橋英人・在田一仁・小森陽一 岩波ブックレットNO814

●原発大崩壊! 第2の Fukushimaは日本中にある 武田邦彦著 KKベストセラーズ

原発安全神話の国家戦略、その背景などを知ると、背筋が寒くなる。第2次大戦に前触れでいたあの時代のように、国民の合意などまさに。こんな小さな地島列島の美しい海沿いに原発が建つ。国策をいかがむかに進めていたのか、自然エネルギーも問題がないわけではない。何を選んでいいか、闇心を持つて考えよう。

## しめじとまいたけ、しょうがの炊き込みご飯

(2~3人)

米 2合

(しぐみじんせり) 大さじ2

しめじ、まいたけ 合わせて 3カット

だし 2C

酒 大さじ2

塩、こしょう 各少々

仕上げ用 しょうが 緑ねり スターフ

今年も徳島の阿波かー  
自家製スターフを貰ってくれました

洗った米を30分以上水に

浸し、サルに上げておく。

しめじ、まいたけは石臼を

といてます。

材料全部合わせて

炊く



仕上げに

しょうが

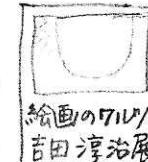
スターフの皮の

あろしげのを

## 9/14 久万美術館へ

早朝今治を発つ車で2時間、  
四国の軽井沢と言われる高原の  
小さな美術館。

中庭のある木造の  
建物は、気持ちのいい  
空気が流れ、  
いいやす子の静けさ。



暑さにも強い雨にも  
負けじとこほへす  
わざくに可憐に咲いて  
このふた大変なときにも平常心でいたいものだ!

各地に甚大な被害を  
もたらしている。  
今治も終日激しい雨音。  
かけように襲い日本列島  
その間に台風が追撃をと  
残暑が続いた九月

